

アメリカ センテナリーカレッジでの交換留学を終えて

大手前大学 総合文化学部
3年生 兵頭千尋

留学の目的は、英語の基礎学力の向上、コミュニケーション能力の向上、そして日本国外での人脈形成でした。この留学で学業以外においてもさまざまな刺激を受けることができました。

前期は大学のESLプログラムを3クラス、それに加えてマスメディアの授業を受講しました。ESLの授業では、writing、reading、pronunciationを学び、マスメディアの授業では、アメリカのマスメディアにおける歴史について学びました。ESLの授業は全員が留学生の授業だったものの、マスメディアの授業で留学生は私一人でした。初回の授業で先生の話聞き取る事ができずとても焦りましたが、次の授業から毎回録音を行い、何度も繰り返し聞いて復習するうちに録音なしで聞き取れるようになりました。後期はESLの授業を一つに絞り、アートとスポーツ、日本の大学にはないテロリズム (Introduction to the Study of Terrorism)、ファッション学を受講しました。前期に比べ

後期はとても忙しく、毎日必死で勉強しました。とくにテロリズムの授業ではプレゼンテーションやディスカッション、グループプロジェクトやレポートが多くありました。日本の大学では学ぶ事のできない「アメリカの考えるテロへの戦略方法」を直に学ぶことができました。

また私は寮で生活していた為、アメリカ人や他国からの留学生と過ごす時間も多くあり授業以外でも英語を学ぶことができました。

この留学を終えて、留学目的であった、3点を向上または達成できたと思います。日本のニュースでは知る事のできないアメリカの現実や、今まで自分がどれほど「日本」という概念にとらわれていたかを実感することができ、新しい視点で物事を見ることができるようになったと思います。言葉や文化が異なる国で、楽しみ、学び、無事に留学を終える事ができたことを、支えてくださった多くの先生、友達、家族に感謝したいです。